



“自分ゴト”から始まる社会づくり

— 半径3メートルをこえて —

“他人ゴト”だった問題が“自分ゴト”になったとき、
ワタシの“自分ゴト”がアナタの“自分ゴト”と重なったとき、社会をつくる「変化」が始まる——

5月20日 **土**

札幌市男女共同参画センター 3階ホール

12:00開場

(札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内)

12:40~13:00

オープニングセッション

石本裕子ピアノ演奏「陽の当たらなかった女性作曲家たち」より

13:00~16:30

シンポジウム

一人ひとりが「社会を変える」ための方法論とアイデアを学びます。

開会挨拶

工藤 遥 WANシンポジウム2017実行委員

基調講演

さあ、「社会を変える」を始めよう

【講師】 田中 優子 法政大学総長

事例報告

“自分ゴト”から「社会を変える」実践

【報告者】 鎌田 華乃子 特定非営利法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン代表

下郷 沙季 札幌学生ユニオン執行委員

武村 若葉 Change.org 広報スタッフ

美馬 のゆり 公立はこだて未来大学教授



パネル討論
振り返り

“半径3メートル”をこえるために

【ファシリテーター】 石井 布紀子 特定非営利活動法人さくらネット代表理事

総括

上野 千鶴子 認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長

※参加費1,000円 (WAN法人会員は無料) 参加申し込み先は裏面を参照。託児有り。

主催 認定NPO法人 ウィメンズアクションネットワーク (WAN)

共催 札幌市男女共同参画センター

後援 特定非営利活動法人 女のスペース・おん、特定非営利活動法人 さっぽろ自由学校「遊」、
性暴力被害者支援センター北海道 [SACRACH-さくらこ]、日本女性会議2017とまこまい実行委員会、
北海道(予定)、北海道シェルターネットワーク、公益財団法人 北海道女性協会、株式会社 北海道新聞社(予定)

当日は
活動団体による
活動発信ブース
も実施!

出演者プロフィール（プログラム順）



石本裕子 ピアニスト・ピアノ教師

札幌市生まれ。NYジュリアード音楽院にてバルトークの高弟ジョージ・シャンドール氏に師事。東京にて桐朋学園短大講師を10年務める。2003年よりハンガリー・ブダペスト在住。CD「My Favorite」はハンガリー国立放送にてラジオ放送される。2017年、新CD「ハンガリーを巡って」発売。WANサイトにてエッセイと作品演奏「陽の当たらなかった女性作曲家たち」連載。今年5月より第二シリーズ開始。WAN助成金により全国各地のコンサートを予定している。



田中 優子 法政大学総長

法政大学社会学部教授、国際日本学インスティテュート(大学院)教授。2012年度より社会学部長。2014年度より総長。専門は日本近世文化・アジア比較文化。研究領域は、江戸時代の文学、美術、生活文化。『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞、『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー学芸賞。その他著書多数。2005年度紫綬褒章。江戸時代の価値観、視点、持続可能社会のシステムから、現代の問題に言及することも多い。



鎌田 華乃子 特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン代表

幼い頃から社会・環境問題に関心があったが、11年間の会社員生活の中で、社会問題解決のためには市民社会が重要であることを痛感しハーバード大学ケネディスクールに留学。卒業後ニューヨークの地域組織にて市民参加の様々な形を現場で学び、2013年に帰国。2014年にコミュニティ・オーガナイズング・ジャパンを立ち上げ、ワークショップやコーチングで、COの実践を広める活動を全国で行う。2015年には「ちゃぶ台返し女子アクション」を立ち上げ、女性が共に声を上げることで政策を変えるための活動に携わる。現在は刑法性犯罪条項を改正するキャンペーンを実施中。



下郷 沙季 札幌学生ユニオン執行委員

北海道大学教育学院修士2年(休学中)。学部生の頃、バイト先の飲食店にて理不尽な理由でクビを言い渡され、怒り狂った末に労働組合「札幌学生ユニオン」を立ち上げた(立ち上げたことで経営者の不興を買い、再びクビとなった)。現在はその不愉快な思い出を胸に出版社での勤務に就き、アカデミック・ハラスメントに関する書籍等を鋭意編集集中である。



武村 若葉 Change.org 広報スタッフ

オンライン署名プラットフォーム「Change.org」広報・キャンペーンスタッフ。2009年よりPR会社に勤務、最大手SNSサービス、大手国内アパレルメーカー、外資系大手ホテルチェーンなどを担当。2013年3月よりフリーのPRプロデューサーとして活動を開始、Change.org日本版のさらなる拡大に向けて、Change.org日本チームに参加。https://www.change.org/ja



美馬 のゆり 公立はこだて未来大学教授

専門は学習科学(情報工学、認知心理学、教育学)、科学コミュニケーション。博士(学術)。公立はこだて未来大学および日本科学未来館の設立計画策定に携わり、設立後、大学では教授、科学館では副館長を務める。その後、函館に戻り地域密着型の一連のイニシアティブを開始。2008年に立ち上げたボランティア組織「サイエンス・サポート函館」の活動で平成26年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。著作に、『「未来の学び」をデザインする』(東京大学出版会)、『理系女子的生き方のススメ』(岩波書店)などがある。



石井 布紀子 特定非営利活動法人さくらネット代表理事

1995年に発生した阪神淡路大震災の際に被災し、被災地での要援護者支援などに関わり始める。その後、研修の講師や兵庫県・内閣府他のさまざまな会議の委員・アドバイザーを経て、現在は地域福祉の視点に立つ防災・減災の取り組みを推進している。2005年から赤い羽根の中央共同募金会が設置する災害ボランティア活動支援プロジェクト会議の幹事および共同事務局。また、2012年から「1.17未来賞ぼうさい甲子園」事務局を担っている。現在、NPO法人さくらネット代表理事、一般社団法人子どものエンパワメントいわて理事。

【申し込み／問い合わせ先】 札幌市男女共同参画センター 事業係
TEL: 011-728-1255 / FAX: 011-728-1229 / E-mail: jigyou@danjyo.sl-plaza.jp

【申し込み方法】 FAX/E-mail の場合、氏名、電話番号、年齢(年代)、所属・活動団体等をご記入の上、お申し込みください。

【託児】 5か月以上就学前幼児。シンポジウムのお申し込みの際に同時にお申し込みください(先着10名)。